

計画策定の趣旨

1 計画策定の趣旨

2025年3月に策定した「静岡県教育大綱」を踏まえ、今後4年間に取り組む具体的な施策等をまとめた「静岡県教育振興基本計画」を策定しました。

2 計画の位置付け

教育基本法第17条第2項に基づく「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」に位置付けられます。また、県総合計画の分野別計画に位置付けられます。

3 計画の期間

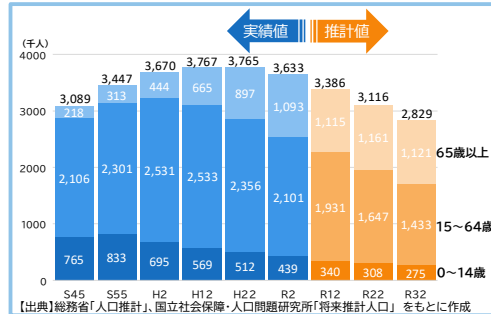
2025（令和7）～2028（令和10）年度までの4年間 ※静岡県教育大綱と同一期間

2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10)年度
静岡県総合計画～しずおかウェルビーイングプラン～			
静岡県教育大綱・静岡県教育振興基本計画			

本県の状況・課題

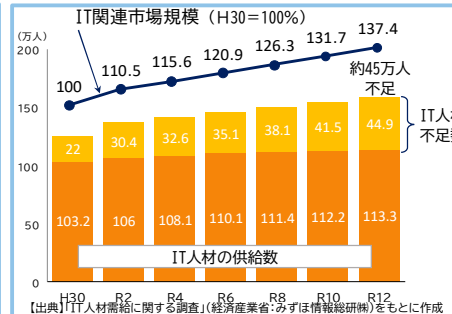
本県の将来推計人口

- 本県の人口は減少局面を迎えています。構造的には高齢者が多く、年齢が低くなるにつれて減少する傾向です。



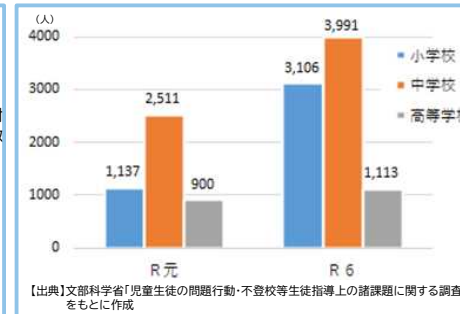
IT人材需給の推計

- AI技術の進展により、高度なデジタル人材の育成が不可欠となっています。国の試算では、2030年までにIT人材の供給が16万人～79万人程度不足すると推計されています。



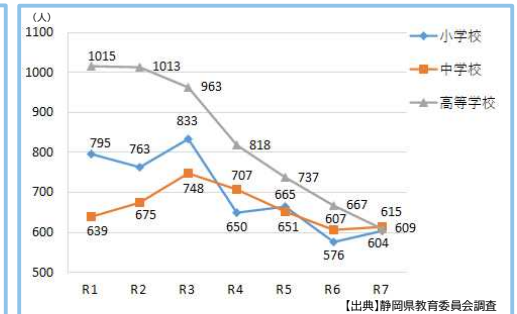
本県の不登校児童生徒数推移

- 不登校児童生徒数は増加傾向にあります。その背景は、複合的な要因が関係していると分析されています。



本県の公立小中高教員採用試験志願者数推移

- こどもの多様なニーズに応えるためには、十分な教員の人数と専門性が必要です。



今後の方向性

基本理念

未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

社会が急激に変化する予測困難な時代において、静岡県が直面する課題を解決し、持続的な発展につなげていくためには、自ら課題を的確に捉えて解決につなげる能力を持ち、未来を切り拓いていくことのできる多様な人材を育てていくことが重要です。

また、将来を見据えると、全ての人が持続可能な社会の担い手として、自らの個性や能力を発揮し、多様な人々と協働しながら社会や人のために行動していくことも求められます。自分の夢を実現でき、幸せを実感できる「幸福度日本一の静岡県」を目指し、全ての人の個性や能力を伸ばす教育を推進します。

取組方針（計画の大柱）

（大柱）		ポイント！
I	未来を創造する力を育む教育の推進	こどものこえを掲載 自分の意見を持ち、伝える力が大切！
II	全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進	自分の個性が認められる環境が大切！
III	地域ぐるみで取り組む教育の推進	学校だけでなく、広い学びの場が必要！
IV	学びを支える基盤づくり	快適で清潔な学習環境が必要！

静岡県総合計画「目指す姿」：幸福度日本一の静岡県

ポイント！

ウェルビーイングの視点を取り入れます
・県民の幸福実感への影響を分析・検討
・県民意識を踏まえて、政策を充実・強化

「静岡県教育振興基本計画」の概要

I 未来を創造する力を育む教育の推進

目指す姿	中柱	小柱
<p>自ら課題を的確に捉え、解決につなげる能力とともに、時代の先を読みつつ、新しいことに貪欲に挑戦し、新たな価値を創造できる力を育む教育を推進します。</p> <p>グローバルな視点と郷土に対する愛情を持って静岡県に貢献する人を育てます。</p>	1 創造性を育む学びの充実	個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化
		乳幼児の教育・保育の充実
		優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実
		高等学校の魅力化・特色化
		活力ある多文化共生社会の実現に向けた教育環境の充実
	2 地域の将来を担う人材の育成	キャリア形成能力を育む教育の推進
		専門的職業人材の育成
	3 グローバル人材の育成	国際的な学びと地域学の推進
	4 高等教育の充実	高等教育機能の強化、大学間・産学官連携の推進
		スポーツや文化芸術を通じた豊かな心身の育成
	5	スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進 文化芸術活動の活性化、地域資源の活用と未来への継承

工程を示す年次数値	現状値	R7	R8	R9	R10目標値
探究コンソーシアムを核とした探究学習の推進 架け橋期のカリキュラムを作成した市町数	全地区でのコンソーシアムの構築				
	各校における探究活動の深化				
	8市町	10市町	20市町	30市町	35市町
高度デジタル人材や成長分野を支える人材の育成	DXハイスクールへの指定				
	ICTを活用した学校設定科目の研究と開設			他校への展開	
県立高校の在り方の検討と具現化	地域協議会の開催、グランドデザインの策定				
	グランドデザインの具現化				
希望する教育や就業の実現に向けた日本語教育支援	外国人のこどもの日本語指導の実施、学校におけるやさしい日本語活用促進				
	日本語教育人材や教材提供			留学生等への日本語教育支援	
「キャリア・パスポート」を活用して指導した学校の割合	小97.3% 中96.4%	100%	100%	100%	100%
静岡県産業教育審議会による答申の具現化	審議会の開催		答申の具体的方策の具現化		
外国人留学生数	4,989人	5,000人	5,170人	5,340人	5,500人
静岡県立大学、静岡文化芸術大学の中期目標	【静岡県立大学】 第3期(R1～R6) 中期目標期間評価	【静岡文化芸術大学】 第3期(R4～R9) 中期目標見込み評価	【静岡文化芸術大学】 第4期(R10～R15) 中期目標策定	【静岡文化芸術大学】 第3期(R4～R9) 中期目標期間評価	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	50.1%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%
こどもを対象とした文化事業参加者数	62,476人	64,000人	66,000人	68,000人	70,000人

II 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進

目指す姿	中柱	小柱
<p>個々の実情やニーズに沿った多面的・総合的な支援を実施することで全ての人の可能性を引き出すとともに、社会を生き抜く力を育む教育を推進します。</p> <p>多様性を尊重し、個に応じて誰もが社会の担い手として活躍できる社会を目指します。</p>	1 多様性を尊重する教育の推進	人権教育の推進と人権意識の更なる醸成
	2 個別的教育的ニーズに応じたきめ細かな支援	一人ひとりに応じた多様で柔軟な支援 こどもや保護者の経済的負担軽減 特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実

工程を示す年次数値	現状値	R7	R8	R9	R10目標値
人権啓発講座等の参加者数	累計 650,389人	累計 675,389人	累計 700,000人	累計 725,000人	累計 750,000人
相談できる人がいると答える児童生徒の割合	小 95.7% 中 93.2%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%
県内の生活保護世帯のこどもの高校等進学率	86.5%	毎年度、全国平均を目標			92.5%
交流籍を活用した交流及び共同学習の実施人数	1,074人	1,200人	1,300人	1,400人	1,500人

III 地域ぐるみで取り組む教育の推進

目指す姿	中柱	小柱
<p>地域との連携により魅力ある学校づくりを進めるとともに、学校、家庭、地域等が主体的に連携し互いに学びを支え合うことにより、地域ぐるみで教育を推進します。</p> <p>誰もが生涯を通じて学び続けることのできる環境を整備し、地域社会を担う人を育てます。</p>	1 社会とともにある開かれた教育行政の推進	社会全体の意見を反映した教育行政の推進
		学校・家庭・地域の連携推進
	2 生涯を通じた学びの機会の充実	誰もが生涯を通じてともに学ぶことのできる機会の充実

工程を示す年次数値	現状値	R7	R8	R9	R10目標値
市町教育長会議等の開催回数	15回	15回	累計30回	累計45回	累計60回
小中学校における地域学校協働本部の整備率	84.7%	85.0%	87.0%	89.0%	90.0%
公民館・生涯学習施設等の講座・学級開催回数	5,320回	6,000回	累計 12,000回	累計 18,000回	累計 24,000回

IV 学びを支える基盤づくり

目指す姿	中柱	小柱
<p>教職員の資質向上や働き方改革を進めるとともに、教育DXにより学びの高度化や校務の効率化等を図り、学びを支える基盤を充実します。</p> <p>学校施設等の安全・安心を確保するとともに、過ごしやすい環境の整備を推進します。</p>	1 学びの充実に向けた教育環境の整備	教職員の資質向上、教職員の働き方改革の推進
		教育DXの推進による学びの充実
	2 学校施設等の安全・安心の確保と向上	学校施設等の整備・充実
		児童生徒等の安全確保

工程を示す年次数値	現状値	R7	R8	R9	R10目標値
研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員の割合	93.3%	94%	96%	98%	100%
教材研究・指導準備・評価・校務等にICTを活用する教員の割合	90.3%	92.7%	95.1%	97.5%	100%
「学校施設長寿命化整備指針」及び「学校施設中長期整備計画」の策定	「学校施設長寿命化整備指針」の策定			「学校施設中長期整備計画」の策定	
各校における実践的防災訓練の実施	実践的防災訓練の推奨		防災訓練の確認と検証		実践的訓練定着